

# 令和2年度健康保険組合決算のご報告

第174回ダイハツ系連合健康保険組合会において令和2年度決算が承認されました。  
 保険料は減収となりましたが、コロナ禍での受診控えやインフルエンザ罹患の激減などで医療費が減少しました。  
 結果、2期連続の経常黒字となりました。

## 健康保険決算



**収支差引残金<sup>(註)</sup> 3億2,733万4千円**  
**経常収支差引額 4,963万6千円**

(註) 収支差引残金は以下の通り処分しました。  
 ・ 3億2,721万8千円を法定準備金へ積立て  
 ・ 11万6千円を次年度の上部団体への健保相互扶助拠出金として繰越し

## 令和2年度決算(各種基礎データ)

健康保険料率=10.00%		令和2年度適用状況		前年度比
事業主=5.39%	被保険者=4.61%	年間平均被保険者数	13,032人	+140人増
		年間平均被扶養者数	13,842人	+28人増
		平均標準報酬月額	332,035円	▲11,997円減

## 介護保険決算

40歳以上の皆さまから納付いただいた介護保険料は、国に指定された負担額を国庫に納めています。

**収入合計額 5億8,877万7千円**  
**支出合計額 5億8,250万5千円**  
**収支差引残金<sup>(註)</sup> 627万2千円**

(註) 収支差引残金は以下のとおり処分しました。  
 ・ 627万2千円全額を介護準備金へ積立て

高齢者への負担金増加やコロナ禍で見通しが困難な保険料収入や医療費など、今後も厳しい財政状況が予想されます。事業主の皆さま、組合員の皆さまの引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。